

平成27年第5回岐阜市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 平成27年4月27日(月曜日)午後1時30分
- 2 場 所 岐阜市立梅林小学校 会議室
- 3 出席委員 勝野委員長、矢島委員、中島委員、足立委員、早川教育長
- 4 説明のために出席した事務局の職員
若山事務局長、原事務局次長兼教育政策課長、石原教育立市政策審議監、古田学校教育審議監兼学校指導課長、高井教育施設課長、豊吉岐阜東幼稚園長、小栗学校保健課長、大野岐阜商業高等学校事務長、内堀社会教育課長、吉成図書館長、小森科学館長、黒田歴史博物館長、杉山青少年教育課長、影山中央青少年会館長、菅沼市民体育課長、高橋社会教育課信長学・市史編さん係長、長谷川教育政策課政策係長
- 5 職務のために出席した事務局の職員
久保田教育政策課主幹、波賀野教育政策課主任主事、河原教育政策課主任主事、森教育政策課主事
- 6 議事日程
 - 第1 開会
 - 第2 前回会議録の報告、修正及び承認
 - 第3 会議録署名者の指名
 - 第4 諸般の報告
 - (1) 杭州市(中国)・大邱^{テグ}広域市(韓国)への視察報告について(教育政策課)
 - (2) 「日本遺産(Japan Heritage)」の認定について(社会教育課)
 - 第5 議事
 - ※(1) 報第5号 岐阜市学校運営協議会委員の任免について(学校指導課)
 - ※(2) 第33号議案 岐阜市学校運営協議会委員の任免について(学校指導課)
 - ※(3) 報第6号 岐阜市教育委員会附属機関委員の任免について(学校保健課ほか)
 - ※(4) 第34号議案 岐阜市教育委員会附属機関委員の任免について(教育政策課ほか)
 - ※(5) 報第7号 岐阜市教育委員会非常勤嘱託職員の任免について(学校保健課)
 - ※(6) 第35号議案 岐阜市教育委員会臨時的任用職員及び非常勤嘱託職員の任免に

ついて(青少年教育課ほか)

- ※(7) 報第8号 岐阜市立学校歯科医の任免について(学校保健課)
- ※(8) 報第9号 岐阜市立学校職員の人事について(学校指導課)
- ※(9) 第36号議案 岐阜市立学校職員の人事について(学校指導課)

7 会議に付した事件

「6 議事日程」のとおり。なお※の報告及び議案は、秘密会形式で審議した。

8 議事の経過

午後1時30分開会開議

○勝野委員長 本日の出席者数が定数に達し、会議が成立いたしますので、只今から、平成27年第5回教育委員会定例会を開会します。前回の会議録は、前回の出席者により承認されました。本日の会議録の署名者には、本日の出席者を指名します。

それでは、議事日程をご覧ください。本日は、諸般の報告が、追加の報告を含め2件、議事が9件となっています。議事日程に、秘密会で審議すべき案件が記載されていますが、このとおり扱うことに、ご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

○勝野委員長 秘密会については、議事日程記載のとおり扱うものとします。

日程第5、諸般の報告にまいります。報告1について説明をお願いします。

○早川教育長 (以下、報告(1)はテレビモニターに写真スライドを写し説明。) 4月6日から11日まで、中国の杭州市及び韓国の大邱広域市を視察しましたので報告します。日本から、岐阜の名前の発祥である曲阜へ渡り、杭州市、大邱広域市の順に、1週間にわたり出張しました。曲阜を視察した理由は、「論語が教育にどのように役立っているのか」、「論語や孔子の思想が社会主義とどのように共存しているのか」を調査、研究するためです。この写真は、副市長です。こちらは孔子廟です。この亀の上にある石碑に孔子の言葉が刻まれています。この石碑は、紅衛兵の時代に壊されましたが、現在はご覧のとおり修復されています。ここで市長が「温故創新」という書を書いています。市長は「温故知新」の「知」を「創」に変えた「温故創新」という造語をよく使用しており、それは岐阜中央中学校の校訓にもなっています。

次の写真は、学校で子どもたちが自主的に勉強している様子です。ここでは、朝6

時に起床し、夜11時に就寝するまでの間、8時間の授業と自習を行うという密な日程の合宿が行われています。

杭州市では、生涯学習の拠点となる杭州図書館を視察しましたが、大変素晴らしい施設でした。市立岐阜商業高等学校の職業教育において参考になると考え、視察しました。この写真の建物が杭州図書館です。館内に生涯学習センターがある点が岐阜市の図書館に類似しています。図書館の入口のほか随所に警備員が配置され、館内の安全や静謐な読書環境を守っています。館内にはこのように、案内表示や図書の自動返却機があります。子育てや健康などそれぞれの分野のスタッフによる案内も行われるなど、来館者を支援する体制が構築されています。岐阜市の図書館も様々な種類の椅子を設置していますが、杭州図書館の椅子もご覧のとおり、様々な種類の椅子を配置し、自由に学ぶ場所を選ぶことができるように配慮しています。こちらの写真は、開館直後の様子ですが、土日になると非常に混雑するそうです。杭州図書館は、岐阜市の図書館より席数が多く、大きなホールでは、太極拳を楽しむ人々がいました。

次の写真は、職業訓練高校の様子です。これはコーヒーショップコースの生徒が勉強している様子です。高校の外観はご覧のようになっており、電光掲示板が敷地内にあります。中国には多くの場所に電光掲示板があり、訪れた学校の電光掲示板には「ようこそ岐阜市訪中団」と表示されていました。次の写真は、レストランを勉強するコースです。次はフラワーアートを学ぶコース。これはホテルのカウンター業務を勉強するコースです。このように様々な職業訓練のためのコースがあり、実践的な学びを行う点が、市立岐阜商業高等学校の参考になりますね。この方は日本語の先生で、市立岐阜商業高等学校に在籍したことがあります。子どもができたそうで、再び市立岐阜商業高等学校で教鞭をとっていただくことは難しいそうです。育児休暇を3か月しか取得できず、それ以上休むと仕事を失ってしまうと話していました。

次の写真は、昨年、青少年教育課の日中交流事業の際に岐阜市を訪れた杭州市の子どもたちです。今年は、岐阜市の子どもたちが杭州市に訪問する予定です。中学生の制服の左肩に3本の線が入っていますが、これは最優秀の成績を収めた者に与えられるそうです。

この建物は、杭州市の教育委員会です。建物は普通ですね。杭州市の教育長は、市長と同様に選挙で選ばれるそうです。

続いて、韓国の大邱広域市のスソン区を訪問しました。市民参画の拠点として、図書館や、グローバルステーションと言われる施設があり、少子化の中で韓国の幼児教育がいかなるものかを視察しました。

この写真は、岐阜市加納出身の水崎林太郎氏です。彼は、加納町長をお辞めになった後、韓国の大邱広域市で灌漑事業に尽力され、現地で大変な偉人として祀られ

ています。これは大邱広域市のスソン区の全体写真です。大邱広域市の人口は約200万人です。スソン区には、スソンレイクスクエアという公園があり、市民がジョギングや散歩をするなど憩いの場となっています。湖の畔には水崎林太郎氏の墓があります。訪問時は、桜の花が満開で景色が大変美しい時期でした。公園にはこうした看板が設置され、水崎林太郎氏について記されています。訪問の際、且格に住んでいる水崎林太郎氏のひ孫さんがスソンレイクスクエアにいらっしゃったので、韓国のマスコミが取材に殺到していました。これは日本と韓国が交流する上で大変良い話です。マスコミから「この地を訪れて、どのような気持ちなのか」などインタビューを受けていました。この子が且格小学校の5年生、水崎氏のひ孫さんです。セレモニーが行われ、韓国の日本大使や日本の韓国大使が出席しています。来年、韓国の有名な監督がドキュメンタリー映画を撮るそうなので、岐阜市もこれに何らかの形で関わるとよいのではないかと思います。

次にグローバルステーションを視察しました。写真は地下鉄の入口で、地下街にグローバルステーションがあり、多くの子どもたちが遠足で訪れています。子どもたちがグローバルステーション内のそれぞれのブースに入り、そのブースごとに様々な体験をしています。これが日本のブースです。こたつに入りながら福笑いをしている様子です。この方は特別永住者で、子どもたちと日本語でやりとりをしています。ほかに世界各国のブースがあり、それぞれにALTが配置され、子どもたちはそれぞれの国について学びます。大韓航空やアボリジニのブースもあります。タブレットを使って世界の勉強をするブースもあります。これはタブレットの充電兼消毒機です。大邱広域市はサムスン電子の発祥地であり、アントレプレナーシップにも力を入れています。グローバル化に対応する教育に大変力を入れていることがよく分かりました。

ここは、大邱広域市の図書館で、杭州図書館よりも小規模でした。この写真の子どもたちがパソコンで聴いているのは、英語のプログラムだそうです。予約制で、このように英語の学習プログラムを聴きながら自分で学べるという仕組みになっています。こちらの写真は、1階にある子ども用図書館です。岐阜市の図書館にも自慢できる親子グローブがありますが、大邱杭州市の図書館には靴を脱いで入る読書コーナーがありました。洞穴のような読書スペースは大変面白く、子どもたちに人気があるようです。図書の返却機は、それぞれ子ども用と大人用がありました。こちらはかぐや第二幼稚園と交流があるポム幼稚園です。以上で報告を終わります。

○勝野委員長 ありがとうございます。只今の説明について、質問や意見があれば仰ってください。

私から1つ申し上げます。私が以前勤めていました兵庫教育大学は、大邱教育大学と姉妹校でした。韓国について私が1番驚いたことは、先生が非常に大事にされてい

ることです。先生は、社会的地位が非常に高いようです。

ほかになければ、報告2について説明をお願いします。

○内堀社会教育課長 別冊2をご覧ください。「日本遺産(Japan Heritage)」の認定について報告を申し上げます。先週金曜日に新聞やテレビなどで大きく取り上げられましたが、文化庁は、4月24日金曜日に、地域の宝を国内外にアピールして観光振興に繋げることを目的として、日本遺産を認定したと発表しました。日本遺産は、伝統芸能などの有形又は無形文化財を1つのストーリーにまとめ上げてパッケージ化し、地域ごとに一括認定するものです。文化庁はいわゆる「文化財版クールジャパン」であるとしています。認定を受けた場合、自治体に対して案内板の設置、ガイド養成等に要する費用を補助するという仕組みです。全国の40都道府県から自治体が83件を申請しましたが、そのうち認定を受けたものが24府県の18件で、その中に岐阜市提案の『「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜』がめでたく第1号に認定されました。別冊2の最後のページに「Japan Heritage」のロゴマークを記しています。なお、岐阜市の日本遺産のストーリーにつきましても、社会教育課の高橋から詳しく説明します。

○高橋社会教育課信長学・市史編さん係長 日本遺産は、ストーリーを認定するものです。史跡の発掘調査は、平成19年から行っていますが、庭園が非常に多く発掘され、そのうちの一部が「おもてなし」をする迎賓館であると分かりましたので、「おもてなし」というテーマでストーリーを作成しました。ストーリーの一部を読み上げます。「戦国時代、織田信長の義父にあたる斎藤道三は、井ノ口と呼ばれる城下町を築いた。後にその町を手に入れた信長は、この地を『岐阜』と名付けるとともに天下取りの夢に邁進する。日本史上最も有名な人物である彼は、冷血非道、戦上手、改革者、破壊者等のイメージで語られることが多いが、急峻な岐阜城やその城下で行ったのは戦いではなく意外にも手厚いおもてなしであった。信長は、軍事の力で敵を制圧するだけでなく、文化の力で公家や商人、有力大名等の有力者をもてなすことで仲間を増やしていったのである。」今、私が申し上げたものは、2ページにわたる詳細なストーリーの冒頭部分です。このストーリーを200字以内にまとめたものがお手持ちの別冊2の9ページに記載されています。構成要素として、国史跡の岐阜城跡、復興天守、出土した金箔飾り瓦、長良川鵜飼の鵜飼漁の技術や国指定の用具、鵜飼の造船、操船の技術、鵜飼にまつわる様々な文化財、長良川まつり、長良川の舟遊びの文化、文化的景観、川原町の街並み、岐阜に訪れた当時の来訪者たちが建立した岐阜の名所である善光寺や法華寺、伊奈波神社や岐阜まつり、こうした町のにぎわい、岐阜城の山麓の迎賓館、山上での濃尾平野の眺め、長良川の鵜飼い観覧があります。5人の歴史上の記録に実際に書かれた話によると、信長はこの

時期に岐阜城で様々なもてなしをしていたと分かりましたので、先に申し上げた構成要素をストーリーで繋ぎました。信長は軍事施設である城を客人に見せるという独創的なことをしており、自然の素晴らしい景観と信長がつくった独創性からなる町が、城としての役割を終えた後も今の岐阜市の観光に息づいているというストーリーによって、日本遺産に認定されました。

○内堀社会教育課長 国からの補助金について補足します。平成27年度には、認定を受けた18件に対し、総額約8億円の補助が交付される模様です。岐阜市については、補助を申請する過程で割当が決まるだろうと予想しています。なお、今回の認定は、再来年の「信長公入城及び岐阜命名450年プロジェクト」と重複する内容が多く、今後このプロジェクトの推進にとって大きな弾みになるのではないかと考えています。

○勝野委員長 只今の説明について、質問や意見があれば仰ってください。
約8億円の予算は、単年度ですか。

○高橋社会教育課信長学・市史編さん係長 おそらく3年から5年程度の合計だと思います。

○勝野委員長 認定されたことは非常に喜ばしいことだと思います。ほかにありませんか。

○内堀社会教育課長 お手元に配布したチラシについてお知らせいたします。6月6日土曜日に、じゅうろくプラザホールにおきまして、3月2日に鶺鴒が国の重要無形民俗文化財に指定されたことを記念して「長良川鶺鴒未来シンポジウム」を開催する予定です。内容は、市長、俳優の近藤正臣氏、鶺鴒匠の山下純司氏の3人による鼎談を1時間程度行い、夜間の映像として世界初ですが、8Kのスーパーハイビジョンによる鶺鴒映像上映を25分程度行います。最後に、学識経験者と早川教育長によるパネルディスカッションを1時間程度予定しています。後日委員の皆様にご案内いたしますので、ぜひお越しくださいますようお願い申し上げます。

○勝野委員長 日本遺産についても何か企画する予定はありますか。

○内堀社会教育課長 先週金曜日に認定を受けたばかりでまだ予定はありませんが、今後、検討していきたいと考えています。

○勝野委員長 ほかになければ、議事日程第5の議事に移るため、この際、しばらく

休会します。

(削除)

○勝野委員長 会議を閉会する前に、次回の会議の日程を確認したいと思います。
次回の定例会は、5月26日火曜日、総合教育会議終了後の午後2時45分から、市役所
本庁舎4階4-1会議室にて行いますので、皆様よろしく申し上げます。

以上を持ちまして、本日の会議を閉会します。ありがとうございました。

午後2時35分閉議閉会